

1. 件名：原子力エネルギー協議会との面談

2. 日時：令和3年1月21日（木）11：00～11：50

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 原子力規制部原子力規制企画課 森下課長、榎本補佐（一部テレビ会議システムによる出席）

技術基盤グループ技術基盤課 佐々木企画調整官

原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。） 事務局長、他2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

○原子力規制庁から、本年2月に予定されているATENAフォーラムに関して山中委員が出席し来賓挨拶を行う予定である旨伝えた。

○原子力規制庁から、震源を特定せず策定する地震動の今後の事業者の申請手続きに係る調整の仕方について相談し、ATENAから、事業者の窓口となり調整可能である旨発言があった。

○ATENAが昨年発行した原子力発電所におけるデジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障緩和対策に関する技術要件書に関して、後日必要があれば原子力規制庁の担当者を交えた面談等を行うことを確認した。

○原子力規制庁から、非常用ディーゼル発電機の試験時間等の調査について進捗状況を確認し、まとまりしだい資料を送付してもらいたい旨伝えた。

○原子力規制庁から、以前の面談（令和2年12月10日）にATENAから説明を受けた、原子炉圧力容器の供用期間中検査における試験程度見直しに向けた対応の方向性について、次回の面談で担当者を交えた確認等を行いたい旨伝えた。

○原子力規制庁から、関西電力株式会社大飯3号機加圧器スプレイライン配管溶接部における有意な指示については、個社のトラブルではあるが共通的技術課題と捉えており、ATENAとして原因究明等に関し関与を行っているか発言し、ATENAから、現時点では状況をウォッチしているとの返答があった。

6. 配付資料：

なし

以上